



3.23 予算委員会にて撮影

平成 17 年福岡市条例予算特別委員会  
地震について会派を代表して意見陳述を行いました。地震の翌日に公明党福岡県本部では、災害対策本部を設置。被災状況の調査と被災者をお見舞いし、災害現場を駆け回りました。

3 月 23 日初日に登壇  
山口議員は当初予算委員会  
質疑で予定していた内容を変  
更し、福岡沖地震について党対  
策本部で調査した被害現場の  
状況や被災者の要望を聞き、今  
後の対策など市長や行政当局  
に要望しました。



3 月 24 日山崎市長に市議団  
として要望書を提出。また 4  
月 2 日視察した神崎代表に市  
長が緊急要望を行いました。

**3・20 福岡西方沖地震の被災者の皆様にご心からのお見舞いを申し上げます。**

私たちも一日も早い復興を目指して、国会議員・県会議員の方々と連携を深めながら全力を挙げてまいります。いろいろなご要望がありましたらご遠慮なく申し付けてください。

(地震に関する市役所市民相談室 ☎ 711-4019 で受付中)

公明党福岡市議団は、災害対策本部長である山崎市長に地震対策として 10 項目の緊急の要望をしました。

1 被災者生活再建支援のため市独自支援制度の創設。

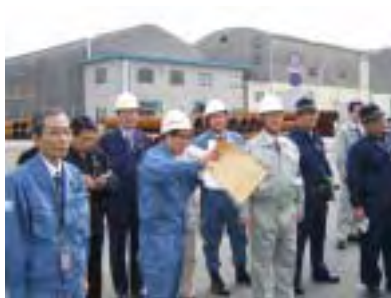
2 倒壊の恐れのあるマンションなどの集合住宅に対し建て替え等の支援策を講じる。

3 玄界小中学生はもとより心のケアが必要な生徒への対策を講じる。

4 漁業者や中小企業者など被災による休業者対策のため雇用支援や新たな貸付について優遇金融政策をとる。

5 ライフラインの早急な復旧と仮設住宅の建設など当面の生活を確保する。等、国・県・市による総合対策を講じること  
を要望しました。山崎市長は、これらの要望に対し積極的に対策を講じていく旨の回答がありました。

神崎代表は市役所での緊急要望についても、国に対して特段の配慮をさせていく旨の話がありました。



漁港にて市場被害を視察



玄界島で漁協組合長から要望



箱崎埠頭にて(1.2m 陥没)

地震被災地を神崎代表と  
山口議員らが視察

# 17年度予算 に反映された

# 公明党市議団 の主張を紹介 します。

この3月議会で成立した福岡市の平成17年度予算には山口議員をはじめ公明党市議団が主張していたことが、数多く反映されています。それらの中からいくつか紹介いたします。

## 小学一年生で少人数学級

学校生活の最初の時期である小学校1年生に1学級35人以下の少人数学級にします。公明党は小中学校の全クラスでの少人数学級を求めています。

## 第三者による学校教育相談窓口を開設

学校関係トラブルを早期に解決するとともに、第三者的な立場で

保護者などからの相談を受ける窓口を開設します。



## 第3子優遇事業

子育て家庭の支援策として、第3子以降の児童を対象に、就学前3年間の保育料などを助成または免除するなど、経済的負担の軽減を図ります。

## 各区にこども相談係を新設

子ども、子育て支援の充実・強化策として、各区に子どもに関するあらゆる相談に応じる「こども相談係」を新設します。

## 特定不妊治療費助成



不妊治療を受けている夫婦に対して、年10万円を限度に通算2回までの助成を行ないます。

## 小学校低学年に防犯ブザー配布

児童の登下校時の安全確保や防犯意識高揚のため、小学校低学年(1・2年生)に防犯ブザーを配布します。

## 女性のがん検診の充実

乳がん検診にマンモグラフィ検診を導入します。

## 地下鉄2号線にホームドア設置

地下鉄ホームからの転落事故防止のため、2号線(箱崎線)全駅にホームドアを設置します。これで地下鉄の全ての駅に設置されることとなります。

## 環境市民ファンドの創設

4月に創設する市民ファンド(基金)により、地域・NPO・ボランティア団体などが行なう、ゴミ減量・リサイクルや環境美化などの環境活動に対して、財政的支援などを行ないます。

## 雨水貯留施設助成制度の創設

個人住宅への雨水貯留施設設置に対して、新たに助成制度を設けます。

## 商店街振興対策

商店街振興のため「ステップアップ支援事業」、「まちづくり活動支援事業」、「商店街言い隊・聞き隊事業」などを行ないます。

## アラカルト

### 3月4日営林署植樹祭に参加



東区三苫・クロマツの植樹風景

### 3月12日水源涵養林植樹に参加



早良区曲淵・杉、桜の植樹風景